

chinai kyosuke
智内兄助

<瞳の隅のいつこをみつ
流さるる> 1984年
アクリル絵具・和紙(雲肌麻紙)
金泥・シナベニヤパネル
116.7×91.0cm
東京オペラシティアートギャラリー蔵



今日の作家展

人間のこころをめぐる表現



hashiguchi george
橋口謙二

<足立区から原宿に
遊びに来た中学生
ー「視線」よりー> 1981年
ゼラチンシルバープリント
32.5×21.5cm
© George Hashiguchi

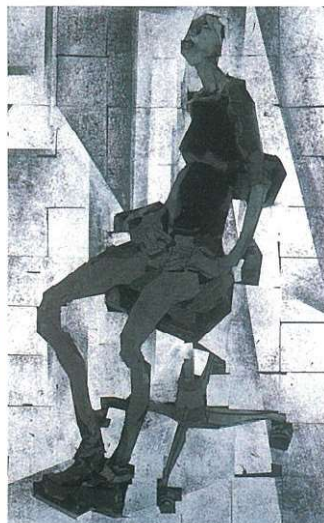
moriwaki masato
森脇正人

<悠久>
2001年 麻紙・膠彩
213.0×180.0cm



yang xiaomin
楊曉閔

<2003 若者> 2003年
布・墨・木炭・岩絵具・
箔・樹脂膠
145.0×90.0cm



2004
227
月(金)

-321
月(日)

横浜市民ギャラリー

午前10時～午後6時

(入場は閉館の30分前まで)*休館日なし

入場料:一般(18歳以上)500円 *18歳未満無料

主催:「今日の作家展2004」実行委員会

横浜市民ギャラリー(財団法人横浜市芸術文化振興財団)

後援:神奈川新聞社、FM横浜放送局、TVKテレビ、
RFラジオ日本、FMヨコハマ、横浜市

協賛:ZELATEX JAPAN 協力:PENTAX

助成:財団法人地域創造



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

今日の作家展 2004

人間のこころをめぐる表現

「私は、私をとりまく世界とどのように関わってゆくのか」という問いは、人間が生きていく上での根本的なテーマです。しかし、国境や家族といった既存のボーダーがしだいに希薄化していく現代の社会においては、「私」の拠って立つところの不確かさゆえ様々なこころの問題がおきているようにも思われます。この展覧会では、同時代に生を受けた私たちのこころの奥にある喜怒哀楽や情念を、深いまなざしで見据えている作家を紹介します。技法も主題へのアプローチも大きく異なる表現同士の思いがけない出会いの中に、共通する人間存在への思いを見いだせるとすれば、それは何なのかをお客様と共に考えたいと思います。出品点数56点。

智内兄助 ちない きょうすけ

1948年愛媛県越智郡に生まれる。東京芸術大学大学院修了。1980年代前半より、長女・久美子氏をモデルに艶やかな着物の童女を描いた一連の作品で評価を得る。1992年に新聞連載された宮尾登美子の小説「蔵」の挿絵が人気を博した。本展では、和紙にアクリル絵具という技法で制作された、1980年代の代表作8点を展示予定。

左 <面妖> 1985年 アクリル絵具・和紙(雲肌麻紙)・胡粉・シナベニヤパネル 60.6×90.9cm 大三島町立大三島美術館蔵
右 <界結べ> 1986年 アクリル絵具・和紙(柿渋紙)・鉛筆・金泥・布と和紙コラージュ・正藍糊・水性麻キャンバス・シナベニヤパネル 164.0×127.0cm



橋口譲二 はしぐち じょうじ

1949年鹿児島県に生まれる。1981年、新宿の路上に集まる若者を撮った「視線」で第18回太陽賞を受賞。以降、都市と人間をめぐる作品を発表する一方で、日本全国を旅し、各地の人々のポートレートと言葉を記録する仕事を続ける。近年は、少年少女を対象に、カメラを使って表現する喜びを共有することを試みるワークショップに力を注ぐ。本展では、「視線」と「夢」(1997年発表)から30点を展示。

左 <竹の子族とその友達「視線」より> 1981年 セラチンシルパブリント 32.5×21.5cm
右 <1995年1月15日 鹿児島県鹿児島市黒神町「中村セン(87歳)」「夢」より> 1995年 セラチンシルパブリント 39.0×30.0cm © George Hashiguchi



森脇正人 もりわき まさと

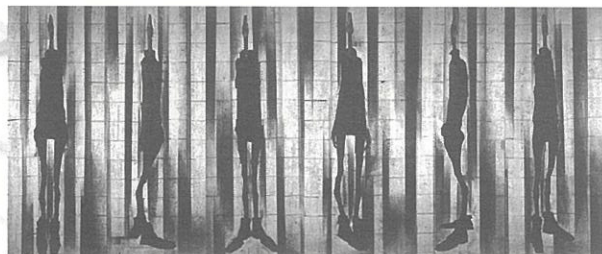
1950年愛知県名古屋に生まれる。多摩美術大学日本画科卒業。1975年の日展初入選以降、日展を中心に活躍。1979年に故・奥田元宋の門下となる。愛知県春日井市内の小・中学校美術教諭として美術教育に力を注いだ後、1991年に再び上京。近年は中国の少数民族に取材し、大地に生きる人々の姿を大画面に描く。本展では8点を展示予定。

左 <遠> 2002年 麻紙、膠彩 175.0×400.0cm 愛知県美術館蔵
右 <大地> 2002年 麻紙、膠彩 217.0×158.0cm



楊 曉閔 ヤン シャオミン

1960年中華人民共和国泉州に生まれる。福建省工芸美術学院、北京中央美術学院を経て、華僑大学芸術学部助手となる。福建省美術館、中国永楽宮壁画研究所での研究活動を経て、1988年来日、和光大学芸術学専攻を修了。銀やアルミの箔地に墨と岩絵具を用い、強い存在感を放つ若者の像を描き続けている。本展では10点を展示予定。
<2002 若者> 2002年 布・墨・木炭・岩絵具・箔・樹脂膠 187.0×450.0cm (パネル6枚組)



お問い合わせ 横浜市民ギャラリー 横浜市中区万代町1-1 横浜市教育局文化センター内

TEL 045-224-7920 FAX 045-224-7928

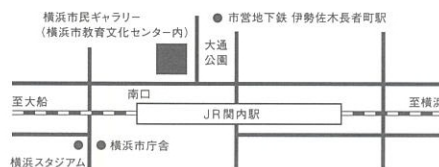
E-mail ycag@city.yokohama.jp

URL <http://www.city.yokohama.jp/me/ycag/>

[関連行事] ギャラリートーク 会場にて

2月28日(土) 14:00~ 智内兄助氏 15:15~ 森脇正人氏

3月6日(土) 14:00~ 橋口譲二氏 15:15~ 楊 曉閔氏



[横浜市民ギャラリー] JR山手線下車南口から徒歩1分 / 横浜駅地下鉄伊勢佐木長者町駅下車2番出口から徒歩3分